

FP情報通信

FiC Financial Information Center

〒860-0831 熊本市中央区八王寺町30-1-8F

TEL096.277.6070 FAX096.277.6071
yamamoto@fi-jyohoukan.co.jp

URL:www.fi-jyohoukan.co.jp

2012年秋号vol.14

【フィナンシャル情報館株式会社】



今年の夏は皆様いかがお過ごしでしたか？僕は夏休みといえば実家に家族を連れてお墓参りするのが慣例でした。しかし、今年は初の試みで鹿児島県の世界自然遺産でもある屋久島へ家族で行って来ました。ありきたりな表現ですが、本当にとっても満足することができ、また近いうちに行きたいと強く思ったくらいすばらしいところでした。

屋久島と言ったらいろいろ思い浮かぶと思いますが、僕自身一番印象に残ったのは永田いなか浜のウミガメです。永田いなか浜で見れるウミガメは5月下旬から7月にかけて親カメが砂浜に産卵し、8月・9月で子カメが孵化します。僕たちが行った時期は8月中旬だったので親カメは見れず、孵化した子カメが砂浜をトコトコと海へ帰って行く場面を見ることが出来ました。その時、僕はふと疑問に思ったんです。なぜ、数ある砂浜の中で屋久島の永田いなか浜を間違えもせず、親カメはこの砂浜を選んで産卵しにくるのかを。早速、民宿のご主人に聞いてみたところ、永田いなか浜の砂に理由があるのだということでした。写真を見ていただくと一目瞭然ですが、通常見る砂浜の砂よりは粗い砂ですよ。はじめに砂浜を歩いた時に感じたのですが、他の砂浜と比べて足がズズッと地面に入り込んでいき足が取られました。ようするに穴が掘りやすいということです。ウミガメは砂浜に穴を掘り、その穴に産卵します。その穴を掘る作業が他の砂浜に比べると格段にしやすいということです。ウミガメは常に屋久島付近で生活しているのではなく、遠い海から産卵時期になるとこの場所に訪れるということです。自然界には不思議がいっぱいです。

二つ目としてはやはり大自然巡りですね。屋久島の自然と言えば屋久杉です。屋久島には樹齢4000年以上とされる縄文杉があり、3000年や2000年級の杉もたくさんあります。4000年以上の古樹を見ようとすれば、徒歩往復10時間くらいかかるそうで、子供連れの僕たちはさすがに断念しました。そのかわりに徒歩30分で見る事ができる千年杉を見てきました。4000年という響きから比べると劣りますが、1000年でもよく考えるとすごい年月が経っています。この自然の中になるとなんだか、大きなものに包まれて宙に浮いていくような感覚になりました。この感覚を人に話したら理解されませんでした(笑)。

最終日にはレンタカーを借りて島一周(約120キロ)をドライブしました。ドライブの途中に屋久猿や屋久鹿が僕たちを無視するように道路へ出てきておりました。そんなこともあり、自然は素晴らしいなと実感していたとき、右写真の景色が目の前に広がりました。思わず車を止め、写真を撮ってしまいました。

